

## 適切な水管理と病虫害防除の励行で高品質な米に仕上げましょう！

### 「富富富」の生育概況

- ・昨年と比較して、草丈はやや長く、茎数は少なく、葉色はやや濃くなっています。
- ・幼穂形成期は、5月10日田植えで7月11日頃と見られます。

表1 生育状況（7月6日現在）

	草丈(cm)	茎数(本/m <sup>2</sup> )	葉齢	葉色
R2	63.9	470	11.5	4.2
R1	61.6	488	11.7	4.0

※JAなのはな管内 生育調査ほ(3カ所) 5月10日田植え



## 1 穂肥(分施栽培の場合)

幼穂形成期から7日後（幼穂長 15mm 程度）を確認し、穂肥を施用しましょう。

### ※肥効調節型基肥栽培の場合

原則、追加穂肥は施用しないでください。

表2 分施栽培の穂肥時期と施用量の目安

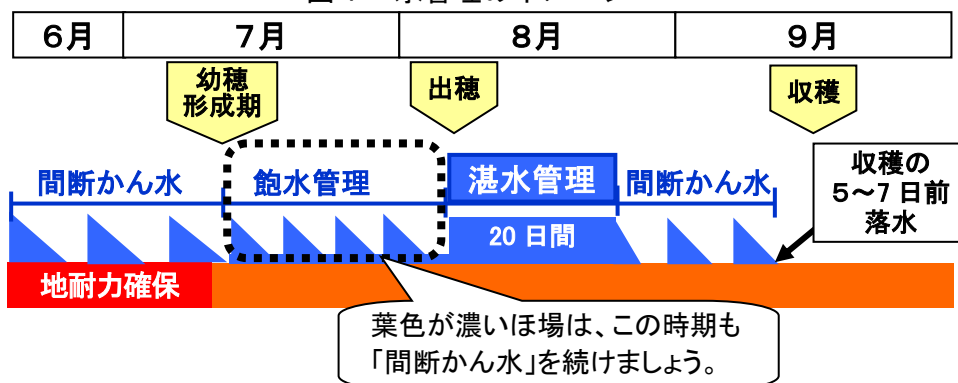
	1回目	2回目
	幼穂形成期の7日後 (7/15頃)	1回目の7日後 (7/22頃)
追肥3号	5~7 kg/10a	10kg/10a

## 2 水管理

幼穂形成期以降は、稲体の活力を維持するため、飽水管理を行い、足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持しましょう。

また、出穂期から20日間は湛水状態を保ちましょう。

図1 水管理のイメージ



## 3 病虫害防除

病虫害防除は、コシヒカリに準じて実施しましょう。なお、生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるか、必ず確認してください。

表3 防除体系

体系	防除時期	薬剤名	成分数	使用量(10a 当たり)	対象病虫害
粉剤	穂揃期	ラブサイドキラップ粉剤 DL	2	4kg	いもち病、カメムシ類、ウンカ類
	傾穂期	スタークル粉剤 DL	1	3kg	カメムシ、ウンカ類
液剤	穂揃期	ラブサイドキラップフロアブル	2	希釈倍数 500倍 使用液量 100ℓ	いもち病、カメムシ類、ウンカ類
	傾穂期	スタークル液剤 10	1	希釈倍数 1000倍 使用液量 100ℓ	カメムシ、ウンカ類

## 4 漏生稲や異茎株の抜き取り

定期的には場を見回り、漏生稲（条間に発生する株）や異茎株（形態や生育時期等が違う株、右図参照）を抜き取ってください。

